

指定管理者に関するモニタリングシート

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 8 年度)

施設の名称	鴻池新田会所	指定期間	7 年度～ 11 年度
施設所管所属	人権文化部文化室文化財課	指定の方法	複数施設を一括指定管理
設置目的	市民の郷土理解と文化的向上に貢献することを目的とし、文化財としての保存を図るとともに、広く市民の利用に供する。		
施設内容・業務内容等	国史跡・重要文化財 鴻池新田会所は、敷地面積10,662㎡である。敷地は国史跡に指定されており、本屋、屋敷蔵、文書蔵、米蔵、道具蔵と本屋棟札3枚、文書蔵納札1枚、米蔵棟札1枚、道具蔵棟札1枚が重要文化財である。指定管理者には、施設の維持管理業務、展示業務、体験学習等各種活用事業を委託している。		
指定管理者	株式会社アスウェル	連絡先	072-984-1640
人員体制	正規職員 3 人	パート・アルバイト 5 人	その他 3 人

2 管理運営状況等

年度		実績						今年度(予算)	次年度(見込)
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
管理形態		指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数		休館	休館	145	305	305	305	305	305
指定管理委託料(千円)				24,747	34,901	35,639			
利用状況	1 入館者数(人)			12,310	補足説明	令和7年10月より利用料金制に移行、加算制度(営利・市外)導入			
	2 施設利用者数(人)			143	補足説明				
	3 イベント実施回数(回)			企画展示 7回 体験イベント 17回 講座・ハイキング 9回	補足説明				

3 モニタリングの総括

施設ごとに定める評価事項((i)重視していた事項、(ii)要改善事項、(iii)期待水準・当初提案を大きく上回った取組、(iv)期待水準・当初提案を大きく上回った成果)及びチェックシートの評価から点数を算出し、下記のとおり評価する。

総合点が95点以上をS、80点以上94点以下をA、60点以上79点以下をB、60点未満をCとする。

4(i) 重視していた事項	6 点	/ 10点	総合評価	A
4(ii) 要改善事項	0 点	/-10点		
4(iii) 期待水準を大きく上回った取組	0 点	/ 5点		
4(iv) 期待水準を大きく上回った成果	0 点	/ 5点		
5 チェックシートの総括	78 点	/ 80点		
上記の合計(総合点)	84 点	/100点		
総評 (全体評価や今後の課題)	指定管理者による施設管理運営は概ね適切に実施されており、施設の設置目的の達成に向けた取組が着実に行われている。自主事業や積極的な広報活動を通じて文化財の活用促進と利用者増加に努めるとともに、安全で快適な施設環境の維持が図られている。一方で、アンケート結果の公表や情報公開規程の整備など改善の余地も見られることから、今後はこれらの課題への対応を進めることで、より効果的かつ透明性の高い施設運営が期待される。			

4 施設ごとに定める評価事項

下記(i)～(iv)の項目は、施設の状況に応じ、所管所属において自由に設定
(所管所属の評価がモニタリングの総括に反映)

(i) 所管所属が特に重視していた事項

評価対象年度(R7年度)において 特に重視していた事項・取組	施設所管所属コメント	評価点
自主事業やイベントの企画・運営	鴻池JAZZや自治会との餅つきイベントなどを自主事業として実施し、地域との連携を図りながら施設の魅力向上と文化財の活用促進に取り組んでいる。	3
施設利用者数増加に向けた広報活動	運営担当者が企画内容に応じた広報物を制作し、行政施設や公共施設、商業施設等への幅広い配布・掲示を実施している。さらに、子ども向け事業では小学校への周知も行うなど積極的な広報活動に取り組み、イベント参加者数及び施設利用者数の増加につなげている。	3

<評価基準>

5点:大変よくできている
(目標をはるかに上回る達成)
4点:よくできている
(目標を上回る達成)
3点:できている
(おおよそ目標どおりの達成)
2点:目標・要求水準には達していないが、取組は大いに評価できる。
1点:目標・要求水準には達していないが、取組は少なからず評価できる。
0点:目標・要求水準には達しておらず、取組も評価できない。

(ii) 要改善事項

主な改善指示事項(過年度からのものを含む)	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
雨天時における建物内の泥汚れ	雨天時は中庭などにぬかるみや水たまりが生じた事案があったが、泥除けマットや泥が持ち込まれにくい動線の設定するなどの改善が行われた。	0

<評価基準>

0点:改善し、求めていた状況・水準以上になった。
-3点:改善しているものの、求めていた状況・水準には達していない。
-5点:改善していない。

(iii) 期待水準・当初提案を大きく上回った取組

当初提案・期待水準を大きく上回った取組	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
	該当なし	

<評価基準>

5点:模範的かつ他施設への展開・波及効果が期待できる取組である。
3点:大いに評価できる取組である。
1点:評価に値する取組である。

(iv) 期待水準・当初提案を大きく上回った成果(※当初提案(期待水準)比+10%超えのもの)

当初提案・期待水準を大きく上回った成果 ※当初提案(期待水準)比+10%超えのもの	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
	該当なし	

<評価基準>

該当があれば5点、なければ0点

(配点対象外) その他特筆すべき事項

指定管理者による自主的な取組で評価に値するもの、突発的な事象発生時の迅速な対応など、特筆すべき事項	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)
	該当なし

配点対象外

5 チェックシートの総括

「個別評価」(自動表示):

S=不適当がなく「得点」が95%以上

A=不適当がなく「得点」が80%以上、

B=不適当がなく「得点」が60%以上

C=不適当が1個以上又は「得点」が60%未満

モニタリングの観点	施設所管所属のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項、課題に対する取組など
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	S (100 %)	事業計画に沿った管理運営が適切に実施され、施設の設置目的を十分に達成している。施設・設備の維持管理や安全対策にも継続的に取り組み、利用者の安全確保が図られていることから、安定した管理運営と事業の継続性が高く評価できる。
B 管理・運営 人員・施設の管理、会計処理等(再委託業務を含む)が適正に実施され、快適に利用できる施設環境が整備されているか？	S (100 %)	人員配置、施設管理、会計処理及び再委託業務の管理が適正に実施されている。施設の維持管理や清掃も行き届いており、快適で安全な利用環境が確保されるなど、安定した管理運営が行われている。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	S (100 %)	公平・公正な施設運営に努めるとともに、利用者ニーズを踏まえたサービス向上を継続的に実施しており、平等な利用の確保と利用者満足度の向上が図られている。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A (92 %)	利用者アンケートや日常的な利用者対応を通じて意見・要望の把握に努め、施設運営や事業内容の改善に活かしている。一方で、アンケート結果の公表が行われていないなど、市民の声を施設運営に反映する仕組みについて改善の余地がある。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするともに、管理経費の縮減が図られているか？	A (91 %)	自主事業や貸室利用の促進により施設の効果的な活用に努めるとともに、効率的な施設運営により管理経費の縮減が図られている。一方で、施設稼働率に関する目標値が設定されておらず、施設活用の成果を客観的に検証する指標が不足している。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A (94 %)	法令や各種規則等を理解し、適切な施設運営に努めるとともに、情報公開請求等についてもその都度適切に対応している。一方で、情報公開に関する規程が整備されていないため、運用の透明性をより高める観点から改善の余地がある。